

2022

国際女性デー
記念シンポジウム

フランスの フェミニズムを 再考する

Repenser le féminisme
en France :

大革命期から
パリテ法まで

— De la Révolution à la Parité —

3月5日(土)

17:00-20:00 / ウェビナーによるオンライン開催
使用言語: 日本語・フランス語(同時通訳)

要事前申し込み | <https://www.mfj.gr.jp>



主催: 日仏女性研究学会
共催: 日仏会館・フランス国立日本研究所
ジェンダー法政策研究所
協力: 公益財団法人 日仏会館

2022

国際女性デー 記念シンポジウム

3月5日(土)

- 17:00-20:00
- ウェビナーによる
オンライン開催
- 使用言語:
日本語・フランス語
(同時通訳)

Repenser
le féminisme
en France :

— De la Révolution
à la Parité —

17:00-17:10

開会の辞 西尾治子(日仏女性研究学会代表)

開会の言葉 ベルナール・トマン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

第一部 [17:10-18:25]

フランスの女性運動の歴史

司会:中山信子(早稲田大学演劇博物館)

「フランス革命期における女性の『能動化と排除』」

—ヴェルサイユ行進から革命共和女性協会まで—

鳴子博子(中央大学教授・同大学社会科学研究所所長)

「19世紀におけるサン＝シモン主義とフェミニズム」

—女性サン＝シモン主義者の声と活動に着目して—

マルコ・ソッティーレ(椋山女学園大学准教授)

「MLFから見た女性の就業と身体解放」

永澤 桂(横浜国立大学他非常勤講師)

第二部 [18:25-18:50]

フランスのフェミニズムとパリテの理念

司会:糠塚康江(東北大学名誉教授)

「ジェンダー法学的視点から、パリテの理念と意義を考える」

辻村みよ子(前明治大学法科大学院ジェンダー法センター長・東北大学名誉教授)

休憩 [18:50-19:00]

第三部 [19:00-19:30]

インタビュー:レジャーヌ・セナック氏に聞く

司会:新行内美和(日仏女性研究学会)

レジャーヌ・セナック(フランス国立科学研究センターCNRS・パリ政治学院政治学研究センターCevipof研究主任)

三浦まり(上智大学教授)

第四部 [19:30-20:00]

登壇者および参加者との討論・質疑応答

司会:西尾治子

— 鳴子博子、マルコ・ソッティーレ、永澤桂、辻村みよ子、糠塚康江、レジャーヌ・セナック、三浦まり

閉会の挨拶 中山信子

フランスの
フェミニズムを
再考する
—大革命期から
パリテ法まで—

要事前申し込み

<https://www.mfj.gr.jp>